

## 収蔵文書の紹介展

### 「データでみる深安郡山野村の経済成長—広島県重要文化財 山野村役場文書」開催中！

（リポーター：下向井祐子）

平成25年1月24日、当館収蔵の「広島県深安郡山野村役場文書」が広島県の重要文化財に指定されました。当館では、山野村役場文書について、皆さんに広く知っていただくために、1月14日から収蔵文書の紹介展「データでみる深安郡山野村の経済成長—広島県重要文化財 山野村役場文書」を開催しています。

深安郡山野村（現在の福山市最北部の山野町）は、昭和30年に町村合併で消滅した村です。村には江戸時代中期から昭和期後半まで約270年間にわたる村役場文書を中心とした記録が残されていました。これらの文書は、山野村廃止後も地元の山野郷土資料保存会の皆さんの手で大切に保存されてきましたが、平成8年、山野郷土資料保存会から当館に寄託されました。



旧山野村役場庁舎

山野村役場文書は、近世から近代へ、戦前から戦後へ、2度の変革期を含んだ長期間にわたる村の行政文書で、歴史資料として全国的にも大変希少なものです。村と村民の生活の具体像を明らかにするだけでなく、明治期の国や県とのやり取り、県から村への通達なども多く残されており、原爆で失われた広島県の行政文書を補完する貴重な資料でもあります。また、旧山野村役場（明治25年建築）も県東部で現存する最古の役場庁舎で、国の登録有形文化財になる見通しです。

#### 展示担当者に聞きました！

##### 展示の見どころ

昭和期、世界恐慌や統制経済、戦争の影響により、山野村の成長は鈍り、長期的な停滞と、町村合併を迎えました。しかし、第1次世界大戦以来の好景気の中で、山野村の経済は着実に成長し、昭和初期には明治期よりもはるかに高い水準に達していました。その背景とは何であったのでしょうか。

今回の展示では、山野村役場文書から収集した統計データや、各時期の行政文書により、近代における山野村の経済成長の過程と要因に迫っていきます。

#### 山野郷土資料保存会のみなさんが1月17日に来館されました！

担当者の説明を聞きながら、熱心に展示を見ていただきました。見学の後、「統計の数字をまとめてグラフにしているので、養蚕など山野村の主要な産業の変化や村の様子などが、目で見てよく分かる展示だった。」「山野の人たちが村を挙げて保存に取り組み、努力して残してきた文書なので、先人たちの思いをくんで、これからも大切に未来へ伝えてほしい。」、などの感想やご意見をいただきました。



展示では、山野村役場文書の統計データを新たな切り口で丹念に読み解き、カラフルなグラフで表示して、養蚕業など戦前期の山野村の産業の発展を、ビジュアルに見ていただけます。地域にとってかけがえのない文書を後世へ残してきた地元の方々の熱い思いと努力に触れて、地域の公的な記録である役場文書をアーカイブズとして残す意義を考えていただき、多くの方に文書館の収蔵文書を活用してもらえればと思います。展示は3月20日（木）まで開催されています。皆様のご来館をお待ちしています！